亀山市域(鈴鹿山系南部 仙ヶ岳~高畑山) 錫杖ヶ岳(向井ルート) 登山道概況(2019.5.20 現在)

# [1]野登山と周辺

	登山道(登山コース)名 写真番号	コース概況	危険地点、問題点
1	野登山表参道(1)~(4)	幅の広い安定した道。途中で車道にでて、再び登山道に入	参道(登山道)と車道が交差するが、
		る。頂上部は杉の老木に囲まれた野登寺と東の三角点のあ	特になし。
		る頂上に分かれる。	
2	仮称(ミツマタ尾根、独標尾根)	坂本棚田、坂本集落の曲がり角に地図表示、道標(国定	岩場、崩落地はない。
	(5)~(6)	公園協会)あり。獣害対策ゲートには道標ない。ミツマタ群生	坂本棚田、坂本集落内に道標があるのみ
		地までは車道に続いて、よく踏まれた登山道である。ミツマタ	で、その後の道標は全くない。
		群生地は谷(ハカン谷)の上部一帯。3~4 月はハイカー多	
		い。群生地の上で尾根(778mピークから南に延びる尾根)に	
		上がる。その地点には林業表示以外、道標はない。(下りの	
		場合道迷いする可能性高い。)その後、尾根は、明瞭な踏み	
		跡。仙鶏尾根に出るところで右に巻き鞍部にでる。	
3	仙鶏尾根 (7)~(10)	野登山から仙ヶ岳に至る尾根。鈴鹿市と亀山市の境界。	危険地点多い。
		やせ尾根であり、花崗岩の露岩、ガレ(ザレ)場、急な登り	小岐須(屏風岩)からの登山道が合流する
		(下り)が連続する。露岩、ガレ場には固定ロープあり(数か	地点(コル)の上は崩壊が進み、固定ロー
		所)。現在、小岐須からの合流点の上の岩場が、一部崩壊が	プがなければ通過不可。
		して、通行に危険な状態。ガイドブックには一般登山道と記	「仙鶏尾根」と書いたプレートがある。
		載されるが、初心者、未経験者には辛い。	

\*ガレ場 岩石が崩壊してガラガラしている所 ザレ場 砂礫が堆積している所

### ①野登山表参道 写真 (1)(2)(3)(4)





登山口(1)



登山口「鶏足山野登寺」の表参道(2)

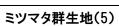


表参道 整備された広い道(3)

鶏足山野登寺境内(4)

#### ②ミツマタ尾根(5)~(6)







ミツマタ尾根から尾根に上がる地点 下り時は注意する。(6)

## ③仙鶏尾根 写真(7)~(10)

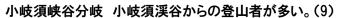


花崗岩のやせ尾根(7)



花崗岩のやせ尾根 固定ロープあり(8)







仙鶏尾根の崩壊地点 崩壊して危険(要注意)(10)

# [2]仙ヶ岳とその周辺(鬼が牙、御所平)

	登山道(登山コース)名 写真番号	コース概況	危険地点、問題点
4	仙ヶ岳南尾根コース	登山の醍醐味、展望が味わえる人気のルートであるが、	老朽化した木の橋、固定ロープも古くすり
	(11)~(20)	岩登りの基本的技術が必要なルート。石谷川林道を約30分	きれているものもある。南尾根の連続する
		歩く。林道は落石、土砂堆積等で歩行のみ可。林道の最奥	岩峰 P1~P5 は慎重に登る。ルートファイ
		は広場で葺谷との分岐である。登山道を少し進むと旧営林	ンディングの力も必要。
		署跡で、南尾根、白谷コース分岐である。	南尾根を走って下ることは特に危険であ
		イタハシ谷(前半)は狭く深い谷。側壁を固定ロープや木の	る。また初心者や高齢者が下りに使用す
		橋を利用して進むが、木の橋は老朽化して1か所崩れ落ちて	るのは事故の危険が伴うので要注意であ
		おり、谷沿いに迂回ルート設置(4.4)。上部は枯れ沢で落石、	<b>వ</b> 。
		浮石に注意が必要。不動明王のコル(鞍部)から尾根道(南	
		尾根)となる。取り付きの岩場は、固定ロープを利用。子供、	※バリエーションルート(一般登山道ではな

			1
		高齢者等にはやや難しい。(経験豊富なリーダーの補助、三	い、地図に登山道として記載されていないルー
		点支持のアドバイスが必要である。 岩峰 P1~P5 が尾根上に	ト、技術的に困難なルート)に近いルートであ
		続く。 踏み跡程度の部分もあるが赤テープが適度につけられ	<b>る</b> 。
		ているので、慎重にルートファインディングをしてよじ登る。	
(5)	仙ヶ岳白谷(しらたに)コース	南尾根コースの分岐の道標から、石谷川の右岸、左岸と	ハシゴ、渡渉点(増水時)、木の橋
	(21)~(26)	渡渉して進む。崩壊した岸壁(側壁)にハシゴ(2 本)、クサリ	
		が設置されている。大ザックの登山者の通行は困難。腐った	
		木の橋は、早急な修理が必要。御所谷出合まで右岸側、左	
		岸側を繰り返しながら進む。渡渉点の赤テープを見逃しやす	
		い。石積堰堤の右側を上がり河原に出る。白谷の上部は明	
		るいが、道は不明瞭、赤テープに導かれて、稜線にでる。	
6	葺谷(ふきたに、ガンサ谷)	谷上流部は崩壊で堆積した土砂が登山道を覆う。中流部	谷の上流部(源頭部)は崩壊が進み、利用
		は広く炭焼き跡も点在。七ツ釜コースの表示板が残る。下流	する登山者は、皆無又は極端に少ない。
		部は狭く滝が連続し、谷の側部の登山道をシダが覆う。周辺	谷下流部は小滝が連続して、登山道は荒
		はシキミ業者の伐採地。腐った木の橋 8 か所。(特に谷上部	廃。
		の崩壊が進み、一般登山道としては不適)	
7	御所平(ごしょたいら)	県境稜線が、南西から北東方向に、ゆるやかに幅広く約	踏み跡程度なので、ガス、雨、雪などで方
		1500m 続いている。笹原、ススキの中にのアセビが点在す	向を失う危険は大いにある。(地図、
		る。展望に優れ、仙ヶ岳と南尾根が大きくなる。	磁石、それを使用する力が必携。)
8	御所平南西端から小太郎峠	南西端から下る県境稜線の道は直角に曲がっているので見	登山道は明瞭であるが。左右に曲がる所
	(県境稜線)	落としやすい。 県境稜線であるが植林の広い斜面であるの	が随所にある。(地図で地点確認の必要)
		で、わかりにくい。葺谷ルートとの分岐(道標なし)をすぎる	
		と、植林の中を 15 分程度歩き、小太郎峠である。その真上	
	•		

		が大岩。標識あり。	
9	石水渓から鬼が牙~長坂の頭~	鬼が牙までは2ルートあり。急登。三つ淵ルートは薄暗い谷、	ガレ場が鬼が牙の登り、長坂の頭の登り、
	小太郎峠	険しい岩場を登るが、慎重さが必要である。アップダウンの	下降にあり、注意を要する。
		多い尾根でガレ場(固定ロープ)が長坂の頭の東側、西側等	
		にも 3, 4 か所ある。	
10	小太郎峠から臼杵ヶ岳	樹林帯(大半がヒノキ植林)のゆるやかな県境稜線。	県境稜線からベンケイに延びる尾根に入
			りやすい。道標が必要。
11)	船石林道(船石谷)から長坂の頭	船石林道終点から入る。うすい踏み跡だが、赤テープあり。	道迷い防止の道標が必要。
	尾根	比較的歩きやすい尾根。(登山道ではない)	

\*ルートファインディング ルートが曖昧なところで、見分け見出すこと。 コル (鞍部) 稜線上 (尾根上) でピークとピークの間の低い所

#### ④仙ヶ岳南尾根 写真(11)~(20)



南尾根・白谷分岐手前の木橋(11)増水時以外は通行可能。



南尾根・白谷分岐手前の木橋(12)増水時以外は通行可能。



南尾根•白谷分岐 道標(国定公園協会)(13)

下部イタハシ谷右岸側の老朽化した木橋(14)





右岸側 木橋が朽ちて谷側に落下、谷沿いに迂回コース(15) 迂回コースを表示(下る方向)(16)



南尾根 P3(17)好展望



南尾根から見る仙の石(東峰) (19)



南尾根 P3、P4 の間 (18)



仙ヶ岳(西峰)鈴鹿高校山岳スキー部員(20)

#### ⑤仙ヶ岳白谷コース 写真(21)~(26)





白谷コース クサリ場(21)



白谷コース ハシゴ2(23) 慎重に利用する。

白谷コース ハシゴ1(22) 揺れるので慎重に利用する。



白谷コース 古い木の橋1(応急処理後)(24)







白谷コース 古い木の橋2(横を歩く) (26)

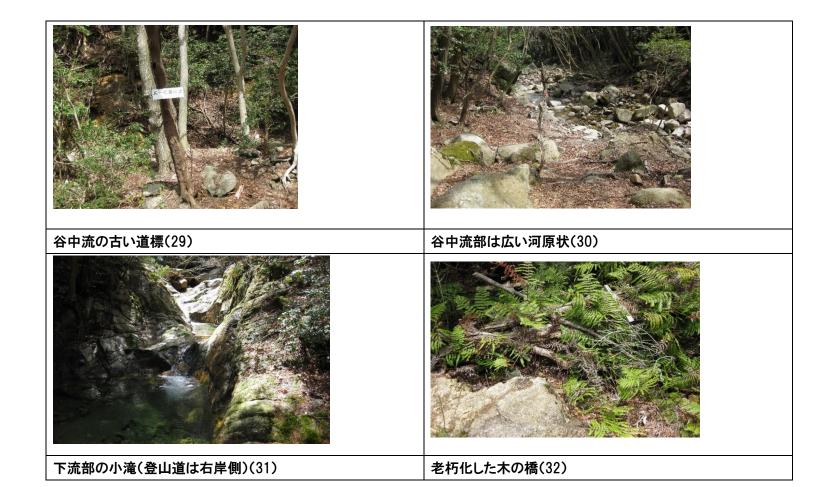
## ⑥葺谷(ガンサ谷) 写真 (27)~(32)



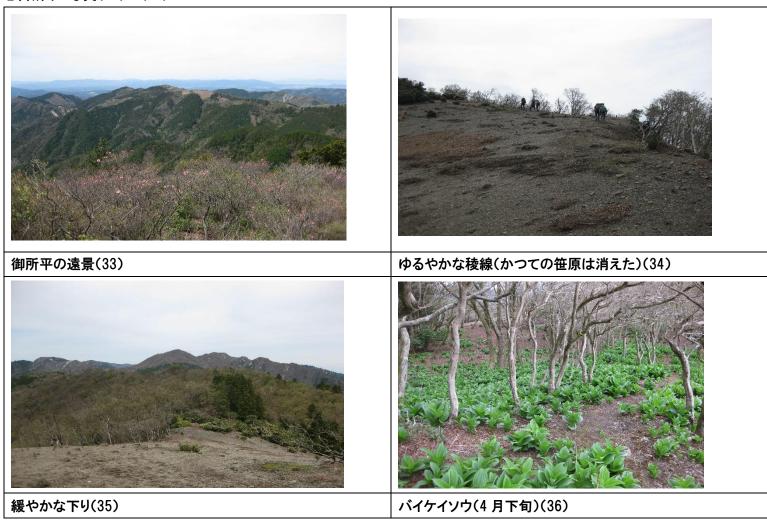
葺谷全景 (27)



谷源頭部のガレ(28)

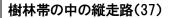


#### ⑦御所平 写真(33)~(36)



#### ⑧御所平南西端から小太郎峠(県境稜線) 写真(37)~(38)







樹林帯の中の縦走路2(38)

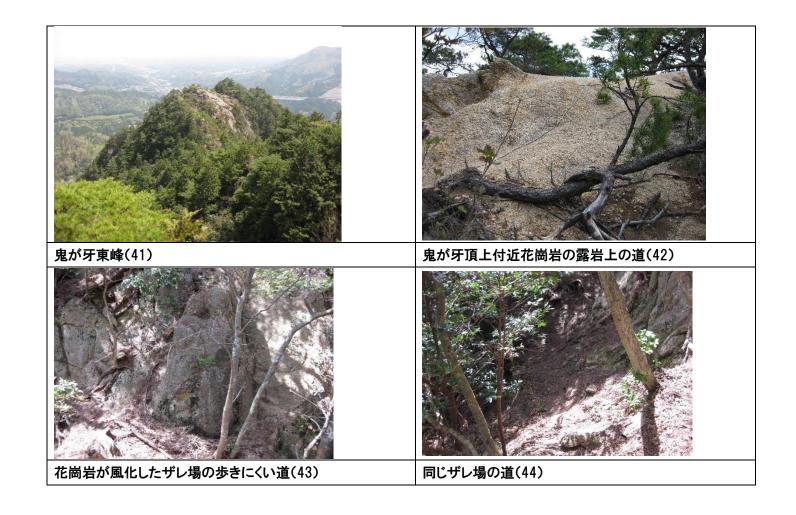
#### ⑨石水渓~鬼が牙~長坂の頭~小太郎峠・大岩(県境稜線) 写真 (39)~(48)

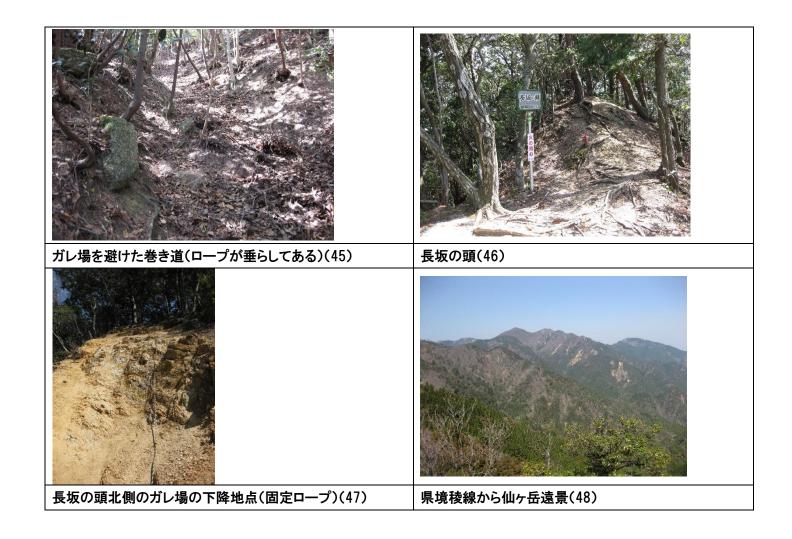


鬼ヶ牙三ツ渕(谷)ルート 険悪なすべりやすい岩場(39)



鬼ヶ牙三ツ渕ルート(固定ロープあり、危険大)(40)





#### ⑩小太郎峠から臼杵ヶ岳 写真(49)~(52)



⑪船石林道(船石谷)から長坂の頭尾根 写真 (53)~(56) (未撮影)

## [3]臼杵ヶ岳とその周辺

12	ウス岩・キネ岩経由で臼杵ヶ岳	比較的多くのハイカーに登られているルートである。急登で	臼杵山付近に、道迷い防止道標必要。
		道が細い部分もある。巻き道が多い。	
13	安楽越から臼杵ヶ岳(県境稜線)	カモシカ高原までは東海自然歩道。以後、県境稜線。	支尾根と合する数地点に道標必要。
	写真 (59)~(60)		

#### ② ③ウス岩・キネ岩経由で臼杵ヶ岳、安楽越へ(県境稜線) (57)~(60)





## [4]四方草山(しおそやま)、三子山とその周辺

稜線)

分駐車可。安楽越からは県境稜線であるが、曲がりくねっている。 キレットは非常に危険。 支尾根に入り込まない、急な下りでのスリップにも注意が必要。大 | 霧ヶ峰の西端から県境稜線に進むが、間 **峠から錐山までは非常に痩せたキレット状の尾根である。特に三重 │ 違えやすい。** 県側の崩壊が激しい。転落の危険があるほか、岩質がもろく、浮 石、落石にも要注意。錐山(錐ヶ岳)は狭いが好展望のピーク。一 旦下って登り返した地点(登山道が直角に曲がる地点)が霧ヶ岳の 西端(頂上標識は三重県側の樹林の中。)である。県境稜線を西、 さらに南西に進み、三角点(667m)のある四方草山の頂上に到達 するが、頂上は見晴らしの利かない樹林の中である。

安楽越から四方草山(県境 | 石水渓から安楽越は東海自然歩道(車道)を歩く。安楽越は車数台 | 安楽越~大峠は道間違いやすい。

15	カナシロ越から霧ヶ岳	石水渓から「関・池山広域林道」を利用してカナシロ越につく。道端	踏み跡がうすく間違えやすい支尾根が多く
		に駐車。霧ヶ岳から雨引山に延びる尾根を利用して歩いた。うすい	道迷い可能性大。
		踏み跡と古い赤テープがあるが、展望がきかない樹林を進むが、1	
		か所ガレ場がある。読図力と体力で、特に下りに利用するときは、	
		進む尾根と支尾根の判別がつきにくい(道迷い可能性大)。特別な	
		目的(霧ヶ岳~雨引山縦走)等でもない限り、お勧めしないルート。	
16	坂下(集落)から霧ヶ岳	坂下から広域林道を約 1 キロ東へ。小広場(三井物産看板あり)に	危険個所は特にない。
		駐車。北に延びる尾根にあがり、忠実に尾根の踏み跡を北方向に	
		進む。標高 570m 付近に北山南峰のプレートあり。踏み跡は徐々に	
		明瞭になる。霧ヶ岳~四方草山~三子山~鈴鹿峠の周回コースと	
		して利用価値はある。	
<u>17</u>	霧ヶ岳から四方草山~三	比較的良く踏まれている。小ピークを巻く道が三重県側につけられ	坂下への分岐地点、キレットの岩場。
	子山(県境稜線)	ている事が多い。四方草山の頂上は平凡。三角点、頂上の道標あ	
		り。南西隣の四方草山南峰の方が広く好展望。この後、県境稜線と	
		坂下の老人ホーム方面への尾根の分岐点があるが間違えやす	
		い。道標はなく、黄色テープにマジックで記載あり。その後、急降下	
		して、キレットになる。規模は小さいが、もろい岩場で痩せているの	
		で要注意だ。固定ロープ 2 か所。 植林帯を登り返して三子山1峰に	
		つく。1 峰は眺望良く休憩適地である(2 峰、3 峰は眺望ない)。	
18	三子山から鈴鹿峠	三子山3峰から鈴鹿峠に向かう場合、磐座のある山頂に行く道と縦	危険個所は特にない。
		走路を間違えないようにする。上り下りはあるが、よく踏まれてい	
		<b>న</b> 。	
	•		

<sup>\*</sup>キレット 稜線が両側に鋭く切れ込んでいる所。「切戸」

#### ⑭安楽越から四方草山(県境稜線) 写真(61)~(70)



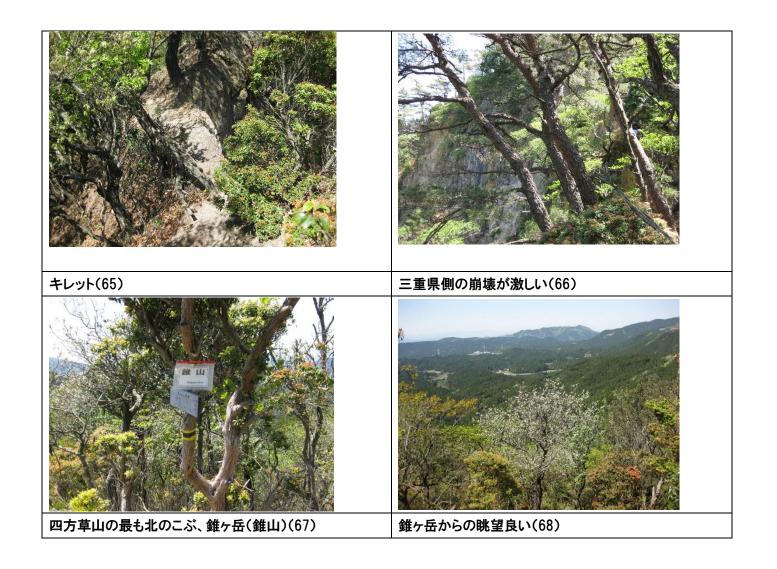
安楽越の熊注意看板(61)

安楽越付近のヒノキ林の中の登山道(62)



支尾根(枝道)に入らないように置き木(63)

もろい岩場でキレットになっている(64)





美しい双耳峰「仙ヶ岳」が見える(69)



霧ヶ岳付近の道標(間違える心配あり)(70)

⑤写真なし

#### **⑯坂下(集落)から霧ヶ岳 写真(71)~()**



植林の中の踏み跡を北へ進む。(71)



四方草山南峰は雰囲気が良い頂上(広く、眺望)。(72)

#### ①霧ヶ岳から四方草山~三子山(県境稜線)





三子山3峰 磐座(岩)への分岐でもある(77)



県境稜線は、途中から東海自然歩道となる。(78)



階段(79)



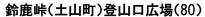
鈴鹿峠付近(右は土山町の茶畑)(80)

# [5]高畑山とその周辺

100	<b>公安证人</b> () 专师儿 (# 7 ·)	2011日は公内はのように1001日野主担 1711またで、2012年のよ	キレットナタフジョウサル ザロ
19	鈴鹿峠から高畑山・溝干山、 │	登山口は鈴鹿峠の土山町側に駐車場、トイレがある。登山者の大	キレットを通る登山道は、ザレ
	坂下峠、坂下(集落)	部分が利用する。(三重県側の登山口は、鈴鹿峠自然の家である	場と風化した岩溝になってい
		が、旧東海道を約30分、片山神社(登山口)から鈴鹿峠まで約30分	る。固定ロープも設置。
		かかる。)鈴鹿峠からキレットまでは急登もあるが、よく踏まれてい	
		る。キレットの手前にナイフリッジの注意看板あり。キレットは、ザレ	
		場と風化した岩溝になっている。固定ロープも設置されている。常緑	
		樹の樹林帯の上り下りをして高畑山山頂につく。展望が素晴らしい。	
		溝干山まではアセビなどの灌木、笹の中の歩きやすい道。溝干山	
		からは高畑山が一望できる。溝干山から坂下峠は急な下り。鞍部が	
		坂下峠である。崩壊で岩石や土砂が堆積している。道標は三重県側	
		(関町)側に立っている。国道1号線まで舗装された林道を歩く。	
20	坂下峠から長峰西尾根、坂下	坂下峠から登り返しはガレ場の左側の灌木の中の道である。唐木	長峰に延びる尾根は、踏み跡
	^	山・那須が原方面の分岐に立つ道標があるので、左(東)に延びる尾	であるので、地形図の読図力
		根(長峰西尾根)に入る。標高 600m 付近までは笹原にアセビ(灌木)	(磁石による方向確認、地形の
		が混じった展望の良い尾根である。踏み跡には赤テープがつけられ	観察も)が必須である。
		ている。その後は、ヒノキの植林帯となる。3 か所で南に延びる支尾	
		根に入る心配の地点はあるが、磁石で進行方向(東の方向)を確認	
		する。長峰(標高 500m、プレートあり)の手前から北に延びる支尾	
		根、または長峰頂上から国道に直接降りる道を利用して、国道の坂	
		下集落に下りる。	

#### ⑩鈴鹿峠から高畑山・溝干山、坂下峠、坂下(集落) 写真(80)~(87)







広場の横の公衆トイレ 非常に清潔。(81)



キレット(ナイフエッジの標識)(82)



キレットを登る三重県高校山岳部の生徒 (83)



高畑山へ 灌木帯の道(84)



頂上は笹原で多人数も休憩可(85)



高畑山から見る溝干山(86)



溝干山から見る高畑山(87)

②坂下峠から長峰尾根、坂下へ 写真なし

## [6] 錫杖ヶ岳(向井ルート) \*福徳ルートは通行止め

向井登山口から錫杖ヶ岳頂上 (1)

関町加太向井から登るルート。駐車場もあり、よく整備されて登山 者も多い。柚之木峠までは植林の中を谷沿いに歩く。木の橋 3 か | る登山道であるが、急な岩場が多 所あり。峠からは急登でやせ尾根になる。木の根を利用して登る。 休憩用のベンチも設置されている。頂上直下は岩場になる。固定 ロープ、クサリ、ハシゴ(梯子)がつけられている。頂上からは 360 度の大展望が得られる。

初心者が登れるよう整備されてい いので、特に下り時、慎重に行動 するべきである。





木の橋

柚之木峠

